

# 平成22年11月期 第1四半期決算短信

平成22年3月30日

上場会社名 アスカ

上場取引所 名

コード番号 7227 URL <http://www.aska.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 片山 敬勝

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 竹之内 敏昭

TEL 0566-36-7771

四半期報告書提出予定日 平成22年4月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年11月期第1四半期の連結業績(平成21年12月1日～平成22年2月28日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年11月期第1四半期	4,762	38.7	174	—	213	—	59	—
21年11月期第1四半期	3,432	△37.8	△110	—	△62	—	△43	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年11月期第1四半期	10.41	—
21年11月期第1四半期	△7.70	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年11月期第1四半期	17,848	4,202	23.5	735.95
21年11月期	17,144	4,092	23.9	716.77

(参考) 自己資本 22年11月期第1四半期 4,202百万円 21年11月期 4,092百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年11月期	—	—	—	—	—
22年11月期 (予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年11月期の連結業績予想(平成21年12月1日～平成22年11月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	9,200	46.0	210	—	270	—	100	—	17.51
通期	17,400	24.7	210	—	270	—	100	—	17.51

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注)詳細は5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(2)をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年11月期第1四半期	5,715,420株	21年11月期	5,715,420株
② 期末自己株式数	22年11月期第1四半期	5,736株	21年11月期	5,736株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年11月期第1四半期	5,709,684株	21年11月期第1四半期	5,710,284株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表時日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

(参考) 平成22年11月期の個別業績予想(平成21年12月1日～平成22年11月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期累計期間	9,000	47.2	180	—	260	—	100	—	17	51
通期	17,000	24.7	180	—	260	—	100	—	17	51

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、中国、インド等の新興国経済の強い回復に牽引され、アジア向けを中心に輸出が増加し生産は持ち直しつつありますが、デフレの傾向が続いており、設備投資の抑制、雇用情勢の悪化などから、先行きが不透明な状況で推移しました。

このような状況のなかで、当社グループは提案型の営業を積極的に展開するとともに、より効率的な製造体制を目指して、技術開発及び合理化活動を強力に推進しました。

また、臨時休業、労務費削減、経費削減等の施策による収益確保に努めました。

当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高におきましては、47億6,262万円（前年同四半期比38.7%増）となりました。損益面におきましては、売上高の増加に加え、上記の収益確保策等を実施した結果、営業利益は1億7,482万円（前年同四半期は1億1,017万円の損失）、経常利益は2億1,378万円（前年同四半期は6,200万円の損失）、四半期純利益は5,944万円（前年同四半期は4,397万円の損失）となりました。

事業の種類別セグメントの概況は次のとおりであります。

## 〔自動車部品事業〕

政府の新車購入奨励策の効果もあり、販売量が増加した結果、当事業の売上高は34億769万円（前年同四半期比59.1%増）となりました。

## 〔配電盤事業〕

新規得意先への受注拡大を積極的に展開しましたが、当事業の売上高は5億1,401万円（前年同四半期比9.9%減）となりました。

## 〔ロボットシステム事業〕

自動車部品メーカーの海外工場向けの自動化システムが好調に推移したことに加え、非自動車分野への受注活動を積極的に展開した結果、当事業の売上高は7億7,493万円（前年同四半期比24.0%増）となりました。

## 〔その他の事業〕

新規取引先の開拓を積極的に推進しましたが、当事業の売上高は6,597万円（前年同四半期比30.4%減）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 資産、負債及び純資産の状況

第1四半期連結会計期間末の総資産は178億4,854万円で前連結会計年度末に比べ7億412万円の増加となりました。これは主に受取手形及び売掛金が増加したことによるものであります。

負債は、136億4,650万円で、前連結会計年度に比べ5億9,460万円の増加となりました。これは主に未払金が増加したことによるものであります。

純資産は、42億203万円で、前連結会計年度に比べ1億951万円の増加となりました。これは主に利益剰余金及びその他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、23.5%となりました。

## (2) キャッシュ・フローの状況

営業活動の結果得られた資金は、前第1四半期連結会計期間に比べ4億6,403万円増加し、5億3,291万円となりました。これは主に売上債権が増加したことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、前第1四半期連結会計期間に比べ1億4,470万円減少し9,617万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が減少したことによるものであります。

財務活動の結果得られた資金は、前第1四半期連結会計期間に比べ、4億8,375万円減少し1億7,326万円となりました。これは主に短期借入金が増加したことによるものであります。

以上の結果、現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度に比べ2億7,461万円増加し7億4,484万円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向を踏まえ、平成22年1月13日に公表いたしました平成22年11月期（平成21年12月1日～平成22年11月30日）の業績予想を修正しております。

当該予想数値の修正に関する事項は、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実施たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	744,840	470,228
受取手形及び売掛金	3,570,798	2,791,689
製品	111,461	106,735
仕掛品	683,817	808,046
原材料及び貯蔵品	305,485	305,506
その他	774,203	712,427
貸倒引当金	△221	△149
流動資産合計	6,190,385	5,194,484
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,840,829	2,888,449
機械装置及び運搬具(純額)	2,217,721	2,354,261
土地	3,689,395	3,689,395
その他(純額)	581,514	553,457
有形固定資産合計	9,329,461	9,485,564
無形固定資産	33,008	36,803
投資その他の資産		
投資有価証券	1,360,500	1,364,175
その他	946,711	1,075,326
貸倒引当金	△11,527	△11,934
投資その他の資産合計	2,295,685	2,427,567
固定資産合計	11,658,154	11,949,935
資産合計	17,848,540	17,144,419
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,225,804	2,188,815
短期借入金	3,300,000	3,800,000
1年内返済予定の長期借入金	2,334,284	2,395,024
未払金	1,786,556	—
未払法人税等	8,774	20,751
賞与引当金	104,743	6,073
その他	457,782	1,588,283
流動負債合計	10,217,945	9,998,948
固定負債		
長期借入金	2,623,408	2,235,929
退職給付引当金	602,487	618,237
役員退職慰労引当金	202,665	198,790
固定負債合計	3,428,561	3,052,957
負債合計	13,646,507	13,051,905

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	903,842	903,842
資本剰余金	901,555	901,555
利益剰余金	2,459,935	2,400,495
自己株式	△3,505	△3,505
株主資本合計	4,261,828	4,202,388
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	37,620	△16,293
為替換算調整勘定	△97,415	△93,580
評価・換算差額等合計	△59,795	△109,873
純資産合計	4,202,033	4,092,514
負債純資産合計	17,848,540	17,144,419

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)
売上高	3,432,752	4,762,623
売上原価	3,257,764	4,328,269
売上総利益	174,987	434,354
販売費及び一般管理費	285,166	259,527
営業利益又は営業損失(△)	△110,179	174,826
営業外収益		
受取利息	2,381	2,014
受取配当金	24,968	6,490
持分法による投資利益	3,346	1,375
助成金収入	18,041	27,516
その他	21,668	19,602
営業外収益合計	70,407	56,998
営業外費用		
支払利息	22,233	17,909
その他	—	135
営業外費用合計	22,233	18,044
経常利益又は経常損失(△)	△62,005	213,780
特別利益		
貸倒引当金戻入額	73	335
特別利益合計	73	335
特別損失		
固定資産除却損	—	1,150
投資有価証券評価損	—	63,319
特別損失合計	—	64,469
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△61,932	149,645
法人税、住民税及び事業税	14,979	8,390
法人税等調整額	△32,941	81,815
法人税等合計	△17,961	90,205
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△43,970	59,440

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年12月1日 至 平成21年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年12月1日 至 平成22年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△61,932	149,645
減価償却費	317,613	252,639
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△73	△335
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,880	98,670
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,278	△15,749
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	3,874
デリバティブ評価損益(△は益)	△1,373	△126
投資有価証券評価損益(△は益)	—	63,319
受取利息及び受取配当金	△27,349	△8,504
支払利息	22,233	17,909
持分法による投資損益(△は益)	△3,346	△1,375
固定資産除売却損益(△は益)	—	1,150
売上債権の増減額(△は増加)	1,524,025	△779,109
たな卸資産の増減額(△は増加)	244,929	119,524
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,687,690	36,988
未払金の増減額(△は減少)	—	556,244
未払消費税等の増減額(△は減少)	42,232	44,299
その他	△184,638	16,870
小計	191,230	555,937
利息及び配当金の受取額	25,549	7,110
利息の支払額	△23,170	△18,192
法人税等の支払額	△124,731	△11,936
営業活動によるキャッシュ・フロー	68,879	532,918
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△256,137	△92,029
投資有価証券の売却による収入	14,250	—
貸付けによる支出	△490	△4,586
貸付金の回収による収入	1,717	699
その他の支出	△262	△262
その他の収入	40	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△240,882	△96,178
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300,000	△500,000
長期借入れによる収入	1,300,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△689,454	△673,261
配当金の支払額	△53	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	310,492	△173,267
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,456	11,138
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	145,946	274,611
現金及び現金同等物の期首残高	632,951	470,228
現金及び現金同等物の四半期末残高	778,898	744,840

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成20年12月1日 至平成21年2月28日)

	自動車部品事業 (千円)	配電盤事業 (千円)	ロボットシステム事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	2,142,407	570,670	624,901	94,772	3,432,752	—	3,432,752
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	58,941	35,220	1,524	95,685	(95,685)	—
計	2,142,407	629,612	660,121	96,296	3,528,438	(95,685)	3,432,752
営業利益又は営業損失(△)	△237,307	46,205	51,664	28,223	△111,214	1,035	△110,179

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な製品又は内容

事業区分	主要製品又は内容
自動車部品事業	フロア(フロント・リア)、ピラー(フロント・センタ)、マフラー、フード、センタメンバ、サスペンションアーム 等
配電盤事業	分電盤、制御盤、FAボックス、盤用キャビネット 等
ロボットシステム事業	産業用ロボット(ユニロボ)、自動化システム、制御装置、情報通信機器 等
その他の事業	人材教育及び研修事業 等

当第1四半期連結累計期間(自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)

	自動車部品事業 (千円)	配電盤事業 (千円)	ロボットシステム事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	3,407,692	514,011	774,939	65,979	4,762,623	—	4,762,623
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	77,580	4,165	823	82,570	(82,570)	—
計	3,407,692	591,592	779,105	66,803	4,845,193	(82,570)	4,762,623
営業利益	27,652	44,061	95,609	6,397	173,719	1,107	174,826

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な製品又は内容

事業区分	主要製品又は内容
自動車部品事業	フロア(フロント・リア)、ピラー(フロント・センタ)、マフラー、フード、センタメンバ、サスペンションアーム 等
配電盤事業	分電盤、制御盤、FAボックス、盤用キャビネット 等
ロボットシステム事業	産業用ロボット(ユニロボ)、自動化システム、制御装置、情報通信機器 等
その他の事業	人材教育及び研修事業

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年12月1日 至平成21年2月28日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年12月1日 至平成22年2月28日）において本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年12月1日 至平成21年2月28日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年12月1日 至平成22年2月28日）において、海外売上高は、いずれも連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。